

4 5 6 7 8 9 60 1 2 3 4 5 6 7 8 9 60 1 2 3 4 5 6 7 8 9 70 1 2 3 4

電子複写不可

1155

昭和二十年五月

電報綴

南西諸島方面

其の二

原
本
記
料

④
電報
20-1

昭和
年
月
マイクロ撮影

資料修理所
電報綴室

電報綴 / 南西諸島方面(二〇一五)

第二復員局殘務處理部資料課

I

兵要資料

軍要

五 一 受信一三〇五五〇 譯丁一五四〇 電自〇〇〇三七七

察敵 作

一二根戰艦報告着信艦所
機密第〇一〇〇二二番電

三分ノ二二三

▲根戰艦報告

一 四月三十日一八四〇敵機動部隊戰艦二(クキーンエリサベス型及
二 四九佛式戰艦レシリュ型) 巡洋艦三(レアンターズロンドン型
ケント型各一) 驅逐艦三(ニコライフスタ)ノ南東海面出現一九
〇四ヨリ二〇〇五迄一時向ニ巨リ連續砲撃實施ノ後南下セリ主射
撃目標戦艦ハ飛行場巡洋艦巡洋艦ハ「ロス」島射距離概ネ五
〇〇米〇一五〇〇乃至一八〇〇米〇八〇〇乃至一〇〇〇
二二二八 天二Bケ六(一七五九〇K)十通
二二二七 長谷川、東、高橋(細川)

5-1 0911

○米觀測機三常時上空ニアリ他ニ戰闘機二陸上施設舟艇等ニ對シ若干機銃掃射セルモ爆撃ナシ空母ハ視界内ニ出現セズ

二戰果ナシ

三被害重傷兵八名飛行場滑走路被弾一八(三八榴砲彈)明日中ニ使
使用可能トナル見込其ノ他相當多數ノ被弾アリタルモ電話電燈
線數ヶ所不廻トナリタル外取換ヘ殆ドナシ

四本機動部隊ハ同日午前「カ」ニコバル島ニ來襲セルモノト同
一部隊ニシテ輸送船ヲ伴フザル其ノ攻撃情況等ヨリ判斷シ大平
洋方面某部ニ呼應スル牽制作戦ト認メラル。

五 一 受信 00七三四 00 譯了 一五二〇 電 〇〇三四七 作機 〇

沖 組 根 P



天一號作戦部隊

機密第〇一〇一〇二番・電

沖根戰團速報第三八號(四月三十日)

戰艦二隻ハ晝間 巡洋艦一隻 驅逐艦二ハ晝夜距岸三乃至五浬附近ニ
漂泊内艦逐艦ハ砲臺ト相呼應シテ間歇的ニ射撃シタリ

戰果ナシ 被害空廠二〇 耗糧銃彈一萬發 被彈誘爆沖根一三 耗糧一
被彈使用不能 戰死沖根根下士官一兵 三防衛召集二 兩西諸島空兵
一四

通一八八 呂一〇ケ七 (九八三〇) 佐二放 松田(阿) 渡一

5-1



作戦要領

● 天竺作戦部隊

機密第〇一〇二五一番尾

● 神根司令官

● 夜間ノ砲撃要領ナリシニ引續キ夜間ノ照明彈を發シテ少々地上戰
● 砲位正確射撃低調ナルハ特異ノ現象ナリ。

第一六三 四一〇七七(四九一五) 佐二放 日野原(猪狩)

五 一 受信 一〇五二
開始 一一四六
電 〇〇二六一
作 〇

作戰緊急



天一線 作戰關係

機密第〇一〇九三九番電

〇九三〇敵艦船状況
一 視界漸次良好トナル
二 口區 B 三
三 ニューメキシコ型 二内一隻
四 コーソ型 一不詳
五 〇 嘉手納灣 日 南下 那覇沖ヲ 游 弋 中 テ キ サ ス 型 一
六 〇 三
七 ハンサコ 一

通二三八 呂一 B ケ七 (七四六〇 KC) カニガヤ 村山 (高橋)

8

5-1

第五基地航空部隊 △

緊急

受信 一五〇〇八

一六一〇

自〇〇三三六

作 繼



第五基地航空部隊戰術情報通信所

第五基地航空部隊 △

機密第〇一〇四〇番電 三分ノ二二三

第五基地航空部隊戰術情報第三一號 (四月二十日ヨリ二十九日)

經過沖繩方面敵艦船及飛行場夜間攻撃ヲ續行 (途中四日間天候不良ノ爲中絶) 一機二十八日全力ヲ以テ敵機動部隊軍機ヲ企圖 (第一次機作戦) セルモ後者ニ於テハ既報ノ如ク所期ノ成果ヲ得ザリ

出動延機數

(1) 對機動部隊作戰 攻擊三九敵偵察一四

(2) 沖繩方面作戰 攻擊五〇

通三三九、三三三 呂一〇八(一三三四七) 天(〇) 五PQ 放 村山、田中(雨谷)

9

三戰果

(イ) 對機動部隊作戰不明
(ロ) 沖繩方面作戰

擊沈 大型驅逐艦一隻 中型輸送船一隻
擊破 大型輸送船一隻 (二十五番一命中) 戰艦又ハ巡洋艦一隻
(六番二發命中) 大型巡洋艦一隻 中型輸送船一隻 (何
レモ二十五番各一命中)

飛行場燃破炎上十數箇所右ノ外艦船ニ突撃ヲ報ゼルモノ一
四被害

(イ) 對機動部隊作戰未歸還六 (既報零戰ニヲ三天山及榮雲各一ヲ零
ニ訂正ス) 大破四

(ロ) 沖繩方面作戰未歸還八 大破三

(ハ) 地上被爆大破四

緊急



鹿屋航空基地

沖繩根

機密第〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一 三分ノ一

發 聯合艦隊參謀

宛 聯合艦隊參謀長 第五航艦參謀長

四月十七日 (敵總攻撃ノ準備攻撃開始) ヨリ三〇日迄ノ間當地ニ於テ

觀測セル來襲延機ハ左ノ如シ

十七日ヨリ十九日迄ノ敵總攻撃開始ヲ最大トシ爾後漸減ノ途ヲ見ル漸

減及理由サイパン 石垣 宮古 各米島等ニ對スル攻撃ヲ當地ヨリ實

施。 (電信課註 本電三分ノ三未着)

通元一二 呂一Bケ七 (七八七五) (一RFGB放 高橋 (森 田)

台湾空

新竹航空基地戰團概報（四月三十日夜）
 一九四〇天山四機沖繩周邊敵艦船夜間雷擊ノ爲新竹基地發進内二機
 天候不良ノ爲引返一機新竹歸着一機二一〇桃園飛行場不時着大破
 搭乗員無事ナリ 一機二二四〇那珂沖航行中ノ機迷航ラシキモノヲ
 發見雷擊效果確認シ得ズ宜蘭經田一日〇七一五新竹歸着一機出發後
 連絡ナク現在迄未帰還天候基地ヨリ戰場ニ至ル迄暴風重一〇時高三
 〇〇米視界一以内旋泊艦船ハ全然視認シ得ズ。
 通四七二 呂一Bケ一（一一三七四・五〇）五F〇B放 原（阿波）



緊急

五一 開始一八〇五

歸予二〇三五

電〇〇四五五

作

臺灣空

第五基地航空部隊

第五基地航空部隊戰團概報着信處所

機密第〇一一一四五番電

12

往三分間以上ヲ認ム
三歸投時二一〇〇地點クイ四五二一一五「ナラニシ」ニテ執拗ナ
敵夜戦ノ追躡ヲ受ク。

14

石垣島空基地

緊急

五 一 受信一六五〇八 譯了一六五〇 電〇〇三五八 作概

作

● ●

五基地航空部隊臺灣方面飛行機配備基地

機密第〇一一二四〇番電

● 石垣空基地

15

石垣基地戰闘速報(四月三十日五月一日)

一昨夜一九三〇一三四〇夜戦六機〇三〇〇一〇四〇〇夜戦二機
〇七一一五一〇七三〇六六一一 二機偵察〇九三〇一〇九四五
B F I 一 四機 B F I 一 四機 一三〇一 一二三〇 B F I 五機
六 F I 一 三機來襲主副滑走路給掩体附近銃爆撃副滑走路被彈九發
ノ外被害ナシ 副滑走路一九〇〇迄ニ修理完了ノ見込天候不良ノ
爲來襲比較的低調ナリ。

通三六五 呂一Bケ二(一一三四七五E)五FGB放 咲花(佐藤)

5-1
カチ

基地航空部隊 △

緊急



第五

基地航空部隊
臺灣方面飛行機配備基地

機密第〇一〇二五八番電

五 一 受領一六〇〇五 譯了一七一五 電〇〇三六一 航作本〇

參謀長

X日(五月四日)豫定(沖繩島ニ於ケル友軍ノ編攻ヲ決行ニ策慮三
日以陸軍部隊ノ總兵力(特攻ヲ含ム)ヲ以テ橋作戦ヲ決行トシメラ
ルルコトアリ

通三三九 呂一Bケ一 (一三三三七・五C) 五FGB放

未光(阿波)

16

六航軍派遣通信隊

要 急

作

聯合艦隊司令部 鹿屋空基地
大海參一部

機密第〇一二四二一香電 二分ノ三

六航軍派遣通信隊

第六航空軍次同總攻擊計畫左ノ通

偵察北正面敵陣地×日攻擊前參ノ艦船狀況澄厚ノ戰況

飛行場攻撃×一二日夜重爆約五機飛行場及集積所爆撃×日〇三三

〇頃重爆約九機滑走路制壓

艦船攻撃×日黎明襲撃機約十機×日〇八三〇頃特攻約三〇機目標

嘉手納及中城灣ノ巡洋隊以下ノ艦船攻撃三〇分前沖繩北西二五

〇新附近ニ電波探信機偽備

四制空三式戰約二〇機喜界島附近四式戰約二五機沖繩ニ送リ沖

水良部島附近制空四式戰ノ喜界島中繼局投

通五八八 呂一Bケ一(一)B(佐)田中・關根(島田)

17

5-1 5211

沖繩根

天

局長	作戦	工勇	赤	赤	赤	赤	赤
作戦	工勇	赤	赤	赤	赤	赤	赤
赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤
赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤
赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤
赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤
赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤
赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤

五 一 受信 二 二 二 六 二 二 五 五 電 〇 〇 五 四 九 作 概 〇

機密第〇一一九〇一番電

根

一六三〇那覇沖ノ戦艦二 巡洋艦一糸満沖ノ巡洋艦一 驅逐艦一
 嘉手納沖ニ集結戦艦三 巡洋艦三 其ノ他輸送船約五〇隻以上巡
 洋艦一右ノ外巡洋艦慶良間ヨリ嘉手納ニ向ヒツツアリ

五五二 呂一 日ヶ七 (四九一五KG) 佐二放 センバ (雨 谷)

18